

令和5年度 旭東小学校 MMG 指導案統一規格（改定①）

第5学年1組 国語科学習指導案

- ・ ページ余白「上下 25mm, 左右 20mm」
- ・ 本文フォント「MS 明朝」 ・ 文字サイズ「10.5pt」
- ・ 各項目は「太字体」 ・ 行間隔は「1行」
- ・ 段落内の文は「1字下げ」で開始 ・ 読点は全て「、」

柏市立旭東小学校
活動場所：体育館
指導者〇〇三上〇大貴

1 単元名「 」 教材名「 」

- ・ 活動場所は「特別教室」のみ記載
- ・ 「均等割り付け12字」

2 単元の目標

3 指導事項に合致した言語活動とその特徴

4 単元について

(1) 教材観

(2) 児童の実態

(3) 指導観

- ・ 「指導観」の後に「研究仮説との関わり」を記載
- ・ ①～③は全教科で記載形式を統一
- ・ ④は仮説1・2に関連した内容を表にまとめて記載する。

(4) 研究仮説との関わり

①研究テーマ

主体的に学び、思考力・判断力・表現力を高め合う児童の育成
～各教科におけるICT活用を通して～

②めざす児童像

- ・ 自分の考えをもち、わかりやすく表現できる子
- ・ 相手の思いや考えを受け止め、認めることができる子
- ・ 仲間と学び合うことで、喜びや楽しさを感じることができる子

③研究仮説

仮説1：魅力的な単元のゴールを設定して、学習の見通しを持たせれば、主体的に学ぶ児童に育つであろう。（学びスイッチ）

仮説2：ICTの良さを生かした共有・比較の場を通して、学び合う良さが実感できれば、思考力・判断力・表現力が高まる児童に育つであろう。（ICT活用）

④仮説立証のための手立て

本単元では、研究仮説1・2を達成するために、以下の手立てを取り、重点的に取り組んでいくこととする。

統一する文言

- ・ 「、」⇒「、」
- ・ 「気づく、身につける」⇒「気付く、身に付ける」
- ・ 「見い出す」⇒「見いだす」
- ・ 「7本時の指導」の過程を統一
「導入⇒自分で取り組む⇒広げ深める⇒まとめあげる」

仮説1への手立て

①「物語の『心情曲線絵巻』をつくってみよう!」を魅力的なゴールとして設定する。

- ・物語の全体像を捉えながら読み進めていくという学習課題を意識させる。
- ・初めに「心情曲線」の作成例を提示することで、その有用性や「やってみたい」という児童の主体性を引き出しながら指導を行っていく。
- ・単元の最後に、作成した心情曲線シートをつなぎ合わせ「心情曲線絵巻」を完成させた、友達に発表する場を設ける。

心情曲線⑤		心情曲線③	心情曲線①	心情曲線①
-------	---	-------	-------	-------

②学習の見通しをもたせる掲示物の作成。

- ・今後の学習活動の見通しや既習した内容が分かる掲示物を作成し、児童が常に確認できるよう教室に掲示する。

③「学びスイッチ」の効果的な活用

- ・「学びスイッチ」をノートに貼り、単元のゴールに向けた学習活動内容が具体的に分かるようにすることで、今後の見通しがもてるようにする
- ・単元のゴールを達成するために、必要な力を3つ示し、児童が身に付けたい力を明確にする。
- ・毎授業の振り返り欄を設け、自身の学びの達成度を確認しやすくする。

「ゴール」「活動の見通し」「振り返り」を1枚のプリントに集約し、毎時間活用していく。

学びスイッチ 『大造じいさんとがん』

ゴール 物語の『心情曲線絵巻』をつくろう!

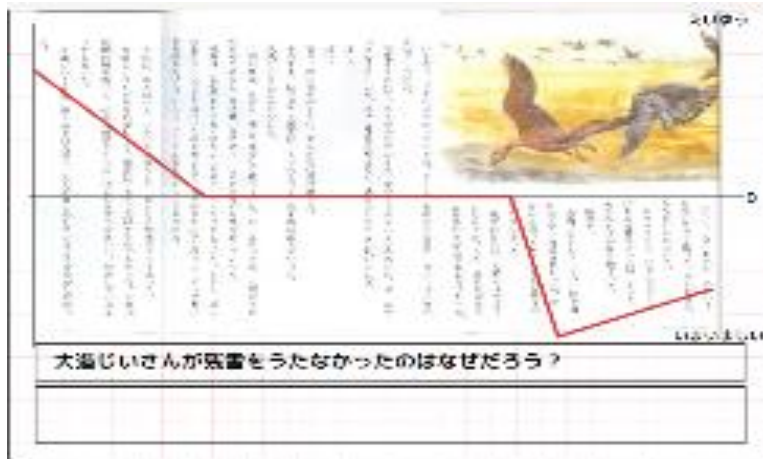
「情報」をもって、登場人物の心情を考え、「心情の変化」が分かる。 登場人物の「心情の変化」が分かる。 物語の「全体像」をつかみながら読める。

①	「学習のゴールと進め方」を知ろう。	書()	読()	学()
1	大造じいさんの「3つの作戦」をまよひよう。	書()	読()	学()
2	大造じいさんの「奮然込み」を読み取る。	書()	読()	学()
3	「ろうど」の心情を読み取る。	書()	読()	学()
4	「ろさん」の心情を読み取る。	書()	読()	学()
5	「鉄をおろしてしまった」の心情を読み取る。	書()	読()	学()
6	「おたきとあおろじやないか」の心情を読み取る。	書()	読()	学()
7	『心情曲線絵巻』をつくり、友達に発表しよう!	書()	読()	学()

- ・「仮説1への手立て」を表でまとめる。
- ・分かりやすいように画像を入れてもよい。
- ・手立てを複数に分けて記載する場合は、マスで句切る。
- ・「学びスイッチ」の内容についても触れる。
※大きくアレンジをしている場合は、詳細が分かるように記載をするとよい。

仮説 2 への手立て

①「自力解決」でのコラボノートの活用。



心情曲線
の作成

学習問題に
対する考え

(コラボノートの作成例)

①から期待される効果

- ・本文との関わりや根拠が明確化されやすい。
- ・読み取りの深まりに繋がる。
- ・視覚化で心情の変化が捉えやすい。

②「意見交流」「全体共有」でのコラボノートの活用。

- ・4～5人グループで、コラボノートをもとに意見交流を行う。



「意見交流」

- (1) コラボノートの「比較機能」を活用し、各グループのシートを共有。
- (2) 自分の考えを発表。
- (3) 相手の考えに肯定的なコメントをしてから次の人が考えを発表。

- ・グループ交流後、全体で意見共有を行う。その際、コラボノートは黒板スクリーンに投影し、それをもとに児童に説明させる。

②から期待される効果

- ・視覚共有のしやすさ⇒相手の意見への理解向上
- ・自分の考えの深化
- ・学び合う良さの実感

③2枚目のコラボノートに自分の考えを「まとめる」

- ・意見交流や全体共有で出た意見を踏まえ、学習問題に対するまとめを自分の言葉で2枚目のコラボノートのシートに作成する。

- ・「仮説 2 への手立て」を表でまとめる。
- ・分かりやすいように画像を入れてもよい。
- ・手立てを複数に分けて記載する場合は、マスで句切る。

5 単元の評価規準

6 指導と評価の計画 (○時間扱い)

7 本時の指導 (○/○)

(1) 本時の目標

(2) 展開

(3) 評価

評価観点／基準	A：十分満足できる	B：概ね満足できる	C：努力を要する
思考力・判断力 ・表現力等			

(4) 板書計画 (ICT 機器活用も含む)

・過程を「見いだす⇒自分で取り組む⇒広げ深める⇒まとめあげる」で統一

・「評価観点」における「評価基準」を表にてまとめる。
・「A：十分に満足できる」「B：概ね満足できる」「C：努力を要する」

・本時の展開の最後は「板書計画」で統一

8 資料

・使用するワークシートや学びスイッチなど必要な資料を「8 資料」として添付する。

学びスイッチ 『大造じいさんとがん』

「ゴール」 物語の『心情曲線絵巻』をつくろう！

「展開」をもって、登場人物の心情を考え、登場人物の「心情の変化」が分かる、物語の「全体感」をつかみながら読める。

①	「学習のゴールと進め方」を知ろう！	書()	画()	添()
②	大造じいさんの「3つの作戦」をまとめよう。	書()	画()	添()
③	大造じいさんの「豊かさ」を読み取ろう。	書()	画()	添()
④	「うらむ！」の心情を読み取ろう。	書()	画()	添()
⑤	「うらむ…」の心情を読み取ろう。	書()	画()	添()
⑥	「鏡をおろしてしまった」の心情を読み取ろう。	書()	画()	添()
⑦	「まだ雪々と舞おうじゃないか」の心情を読み取ろう。	書()	画()	添()
⑧	『心情曲線絵巻』をつくり、友達に発表しよう！	書()	画()	添()

(学びスイッチ)

えいゆう

いまいましい

大造じいさんが残雪をうたなはなはなぞらう？

(コラボノートのワークシート)

・ヘッダーなし ・フッターにはページ番号を挿入「5年① 5年② …」を挿入
・枚数に指定はなし
※製本時の見やすさのために、白紙ページを追加しながら、最終的に各学年偶数ページになるようこちらで調整します。